

平成30年度第9回2月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成31年2月14日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員6名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	荒川政利
	委員	河又弘子
	委員	古口 悟
	委員	和田裕二
	委員	藤澤 勝

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久

4. 議 題

(1) 歴史を紡ぐ『ジャズのまち うつのみや』

Memories of Jazz Spot 近代人」

本放送 1月2日(水) 23:00~24:00

再放送 1月3日(木) 23:00~24:00

再々放送 1月6日(日) 15:00~16:00

報道制作部 川島育郎

(2) その他

5. 議事内容

(1) 歴史を紡ぐ『ジャズのまち うつのみや』

Memories of Jazz Spot 近代人

試聴番組：放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局川島が番組の企画・制作内容について説明した。

宇都宮の老舗ジャズバー「j a z z s p o t 近代人」のオーナー平山氏が死去されジャズのまち宇都宮の文化の醸成を果たした「近代人」と平山氏の功績をj a z zの演奏にのせて振り返る番組。とちぎテレビ制作主導によるラジオとテレビのコラボ番組。取材はとちぎテレビが行いその音源素材を基に編集構成したなど番組コンセプトを説明して審議に入る。

各委員からは、

- 「近代人」というバーは知らなかったが、一度行ってみればよかったと感じた。人柄が見えるようで良かった。
- テレビが作ったものと感じた。説明が少なく、映像がないとわからないところがあった。番組の初めの曲が良いと思えなかった。ラジオとして番組を制作するともっとわかりやすくなると思う。
- ジャズには興味がなかったが、人となりはわかった。テレビを見ていればもっと違って聴くことが出来たと思う。
- 「近代人」に行ったことがあるので、店の雰囲気がわかって懐かしく感じた。湿っぽくならず和んで聴くことが出来た。最初の曲は聞きづらかった。そのほかの選曲は程よく良かった。マスターがなぜジャズに入り込んでいったかなど背景があるともっと良い。
- 人柄はよく分かったが、ラジオとしては出演者が多すぎると感じた。誰の声かよくわからなかった。渡辺貞夫さんのコメントがあると良かった。テレビとのコラボ企画という考え方は良いのもっとチャレンジしてほしい。
- テレビが前面に出してしまうのはあまりよくない。ラジオならではの構成をしてほしい。出演者が多くわかりづらいので絞った方が良い。
- 常連客向けの番組という感じで、ジャズのまち宇都宮がどのように作られていったかをもっと知りたい。良いジャズをラジオで聞きたい。選りすぐりの音楽や良いライブを聞かせてほしい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

平成31年度番組審議会の開催日程について審議した。これまで毎月第2木曜午前11時から開催していた日程を平成31年4月以降、毎月第2水曜午後1時30分から開催することとした。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(平成31年2月23日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(平成31年3月1日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(平成31年3月1日～)

以上